



ご当地 **よ坊さん** 茨城

茨 歯 会 報

No.555

茨城県歯科医師会
Ibaraki Dental Association

June
2015
平成27年

6



Contents

デンタルアイ	1
村 居 幸 夫	
会務	3
理事会報告	16
会務日誌	17
学校歯科委員会だより	21
センターだより	29
専門学校だより	31
地区歯科医師会だより	33
福 島 隆 史	
同好会だより	35
比 企 省 吾	
リレー通信	38
北 村 鮎 美	
レディースコーナー	40
高 木 幸 江	
追悼	41
会員の異動	44
国保組合 NEWS	46
事務連絡	47
赤えんぴつ	48

表紙写真について

茨城県笠間市の佐白山で撮影した紫陽花

(社)東西茨城歯科医師会 石本 崇子

理事会報告



第3回理事会

日 時 平成27年6月4日（木）午後4時

場 所 茨城県歯科医師会館 会議室

1. 報 告

- (1) 一般会務報告
- (2) 疾病共済金の支払について
- (3) 県学校保健会部会役員の推薦について
- (4) 会費未納者について
- (5) 6月開業予定の歯科医院について
- (6) 各委員会報告について
学術委員会、医療管理委員会、地域保健委員会、社会保険委員会

2. 協議事項

- (1) 第158回定時代議員会事前質問への対応について
 - ①代議員会議事録のコピーについて
標記質問について、大和田顧問弁護士に対応をお願いすることとした。
 - ②会費に対する減免について
標記質問について、小林常務理事が対

応することとした。

- (2) 土浦歯科治療センターの診療環境の改善と機能強化について

標記について、交渉を進めることとした。

- (3) 平成26年度茨城県心身障害者（児）歯科診療所運営費補助金

実績報告書の提出について

標記報告書について、提出することとした。

- (4) 口腔センターの英語表記について

標記について、

Ibaraki Dental Association Oral Health Center Mito

Ibaraki Dental Association Oral Health Center Tsuchiura

とすることとした。

- (5) 役員選挙規則について

標記規則について、検討した。

- (6) 寄付受け入れについて

標記について、承認した。

- (7) 医療事故調査等支援団体について

標記について、継続して審議することとした。

会務日誌

- 5月21日 第1回備品・消耗品監査を執行。土浦センターと茨歯会館にて、土地、建物、備品、消耗品の管理保管並びに整備状況について監査を行った。
- 出席者 鈴木監事ほか5名
- 5月21日 第1回業務会計監査を執行。業務並びに制度に関する監査（2月1日～3月31日）、会計に関する監査（平成26年度収支決算）を行った。
- 出席者 鈴木監事ほか6名
- 5月21日 茨城県学校保健会理事会在県メディカルセンターにて開催され、平成26年度事業報告並びに決算報告ほかについて協議が行われた。
- 出席者 森永会長ほか2名
- 5月21日 第2回広報委員会を開催。会報5月号の校正、会報6月号の編集、歯科コラムについて協議を行った。
- 出席者 菱沼広報部長ほか5名
- 5月21日 第2回理事会を開催。入会申込書の受理、後援依頼、平成26・27年度日歯生涯研修事業認定研修会、平成27年度HIV医療講習会の実施、ポータブルユニットの購入、地域保健委員会からの議題、フッ化物洗口パンフレットの作成、平成27年度災害コーディネータ研修会、第158回定時代議員会、代議員数の決定及び地区への委員会委員の選出依頼、地区への所轄警察歯科医等の推薦・報告依頼、会館管理費の徴収、日歯広報コラム「都道府県通信」の執筆依頼、平成26年度備品の廃棄処分、「児童虐待早期発見歯科プロジェクトチーム」設立案について協議を行った。
- 出席者 森永会長ほか18名
- 5月21日 第2回厚生委員会を開催。第37回歯科医師親善地区対抗ゴルフ大会、歯と口の健康フェスティバルについて協議を行った。
- 出席者 千葉厚生部長ほか6名
- 5月21日 第2回選挙管理委員会を開催。役員選挙候補者の資格審査、日歯代議員・予備代議員選挙候補者の資格審査、役員選挙・日歯代議員選挙運営について協議を行った。
- 出席者 堀江選挙管理委員長ほか5名
- 5月22日 関東地区歯科医師会長会議がアルカディア市ヶ谷にて開催され、時局対策について協議が行われた。
- 出席者 森永会長
- 5月22日 都道府県会長会議が日歯会館にて開催され、時局問題について協議が行われた。
- 出席者 森永会長
- 5月22日 第1回オープンキャンパスを実施。歯科衛生士科に31名、歯科技工士科には1名の参加があった。

- 5月23日 第1回学術委員会を水戸市内にて開催し、歯科医学会誌の編集、日歯生涯研修セミナー、シンポジウム、がん医科歯科連携講習会、睡眠時無呼吸症候群セミナーについて協議を行った。
出席者 岡崎学術部長ほか11名
- 5月26日 茨城県医療審議会医療法人部会及び保健医療計画部会が県医師会にて開催され、地域医療構想ほかについて審議が行われた。
出席者 森永会長
- 5月27日 新規に指定された保険医療機関に対する集団指導が厚生局茨城事務所にて行われた。
対象医療機関数 15
- 5月27日 基金活用事業打合せのヒアリングが県庁舎にて行われた。
出席者 高橋ケアシステム統括マネジャーほか1名
- 5月28日 日歯認定歯科助手講習会の第1回目を開催。開講式の後、「歯科助手概論・歯科助手の仕事」の講義が行われ、その後「歯科助手の心得とマナー」についてコミュニケーションアドバイザーの中村八恵子先生が講義された。
受講者 61名
- 5月28日 県栄養士会定時総会が県民文化センターにて開催された。
出席者 森永会長
- 5月28日 日本口腔衛生学会の懇親会がつくば国際会議場にて開催された。
出席者 森永会長
- 5月29日 第178回日歯臨時代議員会が日歯会館にて開催され、理事選任のあり方について協議が行われた。
出席者 森永日歯代議員ほか2名
- 5月29日 関東信越厚生局地方社会保険医療協議会に関する連絡協議会が東京都歯科医師会会議室にて開催され、各提出協議題について協議が行われた。
出席者 森永会長ほか1名
- 5月30日 第15回日本スポーツ・健康づくり歯学協議会が盛岡市「ホテルメトロポリタン盛岡NEWWING」にて開催され、平成26年度日本スポーツ・健康づくり歯学協議会事業報告ほかについて協議が行われた。
出席者 長谷部理事ほか1名
- 5月31日 恒例の春のテニス大会が霞ヶ浦総合運動公園（水郷）テニスコートにて開催された。
参加者 23名
- 6月 1日 全国労働保険事務組合連合会茨城支部通常総会がホテルレイクビュー水戸にて開催された。
出席者 須能
- 6月 3日 第2回社会保険正副委員長会議を開催。第2回委員会Q&Aの改定版、指導について協議を行った。
出席者 榊社会保険部長ほか2名
- 6月 3日 第2回社会保険委員会を開催。Q&Aの改定版について協議を行った。

出席者 榊社会保険部長ほか21名

6月 4日 茨城政経懇話会 6月例会が水戸プラザホテルにて開催された。

出席者 森永会長

6月 4日 第2回議事運営特別委員会を開催。第157回臨時代議員会日程、タイムスケジュール、事前質問の取扱い、再質問・関連質問の取扱い、質疑応答の方法、傍聴について協議を行った。

出席者 岡田議事運営委員長ほか13名

6月 4日 第3回理事会を開催。入会申込書、後援依頼、日歯生涯研修事業認定研修会（スタディーグループ）の申請、HIV医療講習会の実施、ポータブルユニットの購入、地域保健委員会からの議題、フッ化物洗口パンフレットの作成、災害コーディネータ研修会、第158回定時代議員会、代議員数の決定及び地区への委員会委員の選出依頼、地区への所轄警察歯科医等の推薦・報告依頼、会館管理費の徴収、日歯広報コラム「都道府県通信」の執筆依頼、平成26年度備品の廃棄処分、「児童虐待早期発見歯科プロジェクトチーム」設立案について協議を行った。

出席者 森永会長ほか20名

6月 4日 東京医科大学茨城医療センター主催の医療連携懇談会がつくば市にて開催された。

出席者 森永会長ほか1名

6月 7日 口腔センターによる心身障害者歯科講習会を開催。「発達障害の理解と発達を促す関わり方」と題して国際医療福祉大学保健医療学部言語聴覚学科の岩﨑淳也先生が講演された。

出席者 116名

6月11日 第2回歯科助手講習会を開催。「歯科疾患の概要」「歯科診療の概要」「口腔外科要点」について講義を行った。

受講者 60名

6月11日 保険医療機関に対する集団的個別指導が市町村会館にて実施された。

対象医療機関数 56

6月13日 上月りょうすけ躍進の集いが「ホテルグランド東雲」にて開催された。

出席者 森永会長

6月14日 茨城県地域医療連携推進協議会が県医師会にて開催され、地域包括ケアに対する各団体の取り組みについて協議が行われた。その後の講演会では、青森県における健康施策、平均寿命延申告の取り組みについて、青森県医師会副会長の中路重之先生が講演された。

出席者 （協議会）森永会長ほか1名 （講演会）森永会長ほか4名

6月14日 珂北歯科医師会との共催により全国共通がん医科歯科連携講習会を那珂市において開催。がん医療に携わる歯科医師の人材育成と全国のレベル統一を図るDVDによる講習会を行った。

出席者 30名

6月15日 内外情勢調査会 6月例会が水戸京成ホテルにて開催された。

出席者 森永会長

- 6月17日 第3回選挙管理委員会を開催。役員選挙のシミュレーションについて協議を行った。
出席者 堀江選挙管理委員長ほか6名
- 6月17日 第158回定時代議員会を開催。役員の選任に関する件、日本歯科医師会代議員・予備代議員選挙に関する件、定款施行規則の一部を改正する規則案に関する件、会員共済規則・共済細則の一部を改正する規則案に関する件、平成26年度決算に関する件について議事を執り行った。
出席者 小澤代議員議長ほか60名
- 6月17日 第4回理事会を開催。代表理事である会長及び業務執行理事の選定について協議を行った。
出席者 森永会長ほか18名

お知らせ

第159回臨時代議員会の開催について

1. 日 時 平成27年7月16日（木）午後1時
2. 場 所 茨城県歯科医師会館 会議室 水戸市見和2丁目292-1 電話 029-252-2561
3. 議 事

決まりましたら、茨歯会ホームページの資料室に掲載いたします。

(<http://www.ibasikai.or.jp> → 会員専用 → 資料室 → 代議員会)

※会員専用へのアクセスにはログインID・パスワードが必要となります。

一般社団法人日本学校歯科医会 「学校歯科医生涯研修制度 基礎研修」 参加報告

学校歯科委員会 椎名 和郎

平成27年5月24日歯科医師会館1階大ホールに於いて上記研修会が開催されましたので、ご報告します。茨城県からは大金誠先生、土井康弘先生と私が参加してまいりました。

開会 一般社団法人日本学校歯科医会

副会長 齊藤愛夫 先生

挨拶 一般社団法人日本学校歯科医会

会長 清水恵太 先生

- 平成28年度より学校検診の内容が一部変更になる。それに合わせて学校歯科医の活動指針も改定された。
- 学校歯科医の活動指針 平成27年度改訂版が皆様の所へ間もなく届く。

講師紹介・日程説明：一般社団法人日本学校歯科医会 専務理事 川本強 先生

講義Ⅰ「学校歯科保健の概念」

(講師：文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課 教科調査官 森良一 先生)

- 新しい学習指導要領が実施されてきているので「生きる力を育む歯・口の健康づくり」も2年後くらいに新しくなる予定。
- 「生きる力」とは「知・徳・体」のバランスのとれた力のこと。そのために歯科保健も役立つ。
- 学校歯科医による健康診断に基づいて、学校保健計画の立案、適切な事後措置を行うことが大切。また、その結果を検証し、学校保健計画、事後措置のやり方を見直すことも重要で、実効

性のある学校保健計画にしていく必要がある。

- 学校歯科保健活動は歯科保健教育、歯科保健管理、組織活動に分かれる。
- 歯科保健教育は保健学習と保健指導に分かれる。
- 歯科保健管理は対人管理と対物管理に分かれ、さらに対人管理は心身の管理と生活の管理に分かれる。
- 歯科保健活動を通じて問題解決型学習を行い、児童・生徒が自己実現、達成感などを実感できるようにすることが重要なので、学校歯科医も折に触れて褒めたり、励ましたりして欲しい。

講義Ⅱ「学校歯科保健における保健教育」

(講師：東京女子体育大学 教授 戸田芳雄 先生)

- 「自分の健康について自ら問題点を見つけ、どのように解決すればよいかを考え、自ら実践する」いわゆる問題解決型の教育が広く行われている。
- 歯科保健の分野では、自分の歯や口の健康を自らの力によって自律的に管理し、食生活など口腔機能が豊かに発揮される人生を過ごせるように教育すること。
- 自ら意志決定（意思ではなく意志という文字なのは、選ぶべき方向が決まっているからだそうです）や行動選択ができることが大切。
- 外傷予防にも力を入れて欲しい。大部分の事故は防ぐことができる。マウスガードの普及にも努力して欲しい。

講義Ⅲ「学校歯科保健における保健管理」

(講師：明海大学 学長 安井利一 先生)

平成28年度の検診から変わることとして、

- 学校保健安全法施行規則第11条（平成28年4月1日施行）により、小学校、中学校、高等学校、及び高等専門学校の全学年において健康診断の前に保健調査を行うことになる。
- シーラント処置歯：健全歯の扱い。歯式に必要があれば㊟の記号を使用する。
- サホライド塗布歯：COと同様の扱いとするが、治療を必要とする場合にはCとする。サホライド塗布歯であることを歯式に記載の必要があれば㊠の記号を使用する。
- 要観察歯CO：要観察歯は、視診にて明らかなう窩は確認できないが、むし歯の初期病変の徴候（白濁、白斑、褐色斑）が認められ、放置するとむし歯に進行すると考えられる歯である。状態を経時的に注意深く観察する必要がある歯で記号COを歯式欄に記入する。また、食生活の見直しや清掃の確認および地域歯科医療機関での専門的管理の必要性等の適切な指導を指示する。具体的には、
ア. 小窩裂溝において、エナメル質の実質欠損は認められないが、褐色、黒色などの着色や白濁が認められるもの。
イ. 平滑面において、脱灰を疑わしめる白濁や褐色斑等が認められるがエナメル質の実質欠損（う窩）の確認が明らかなでないもの。
ウ. 隣接面や修復物下部の着色変化、アやイの状態が多数認められる場合等、地域の歯科医療機関との連携が必要な場合が該当する。学校歯科医の所見欄にCO要相談と記入。（学校保健安全法第10条に「地域の医療機関等との連携」が入っている）
- スクリーニングと事後措置が密接に関連している必要がある。
- 「0」ならば現在の状態を保持増進するためにはどうするか？「1」なら今の状態を進ませないためには何が必要か？「2」ならまず今の状

態を改善すること。というようなことを児童生徒に理解させる。

- できれば臨時の健康診断を行い、その時に励ましたり、褒めたりすれば子供たちの意欲を高められる。

講義Ⅳ「学校歯科保健における組織活動」

(講師：元東京都中央区立泰明小学校校長・同幼稚園園長/元東京都教職員研修センター 研修指導員 木暮義弘 先生)

- 保健教育および保健管理を円滑に推進し、その効果を高め児童生徒の健康づくりを支援する活動。
- ヘルスプロモーションの理念を組織活動にいかしていく。

閉会 一般社団法人日本学校歯科医会

専務理事 川本強 先生

今回の研修会を受けて学校検診というのは教育の一部なのだということが分かりました。子供達が自分の健康を自分で守り、育てるように仕向けることが大切なのだと思います。そうならば、定期検診なども積極的に受けるようになるでしょう。ですから、検診結果をふまえてどのような事後措置を行うかを決め、それがどのような効果を上げたのか検証し、それによってまた事後措置のやり方を検討するという繰り返しが必要なのだと思います。

講義は3時間あり、詳細な内容についてはここには書けません。近日中に「学校歯科医の活動指針 平成27年改訂版」が日本学校歯科医会の会員に配布されるそうですので、未入会の方はぜひこの機会に日本学校歯科医会にご入会下さい。入会ご希望の方は茨城県歯科医師会事務局（029-252-2561）にご連絡下さい。入会申込書を送らせていただきます。



平成27年度 生きる力をはぐくむ 歯・口の健康づくり推進事業連絡協議会 報告書

学校歯科委員会 渡辺 義宏

平成27年5月13日（水）に一般社団法人日本学校歯科医会が主催する、生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業連絡協議会が、日本歯科医師会館1F大ホールで開催されました。

茨城県からは、日立市立十王中学校の西野泰司教頭、茨城県教育庁保健体育課の権田多美子指導主事、県学校歯科委員会より渡辺義宏の3名が参加いたしました。

1. 趣旨

平成27・28年度に日本学校歯科医会が実施する「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」の運営等について協議を行うとともに、学校における歯・口の健康づくりに関する研鑽を深め、当事業のより円滑な実施を図り、子どもの「生きる力」の育成に寄与することを目的とする。

2. 講義

日本大学歯学部衛生学講座 前野正夫教授による「歯・口の健康づくりは全身の健康にも貢献する」と題する講演がなされました。

「歯周病と全身健康との関わり」

歯周病が全身健康に影響を及ぼす要因として、歯周病菌、歯周病菌が産生する内毒素、宿主細胞が産生する炎症性物質が、肺炎、脳血管疾患、心臓疾患、糖尿病、早産など、全身の健康との関連があると報告されている。

糖尿病をもつ歯周病患者が、歯周病の治療をしないで放置すると、血糖値は悪化の一途を辿る。歯周病の治療を行うと、歯周病が治癒するだけでなく、血糖値の低下にもつながる。

疫学研究より、歯周病罹患者は、メタボリック

シンジロームの発症リスクが高い。

メタボ予防における学校歯科保健からのアプローチとして、歯周病予防によるメタボ発症予防、咀嚼による肥満抑制がある。

歯周病予防のホームケアとしては、プラークコントロール、栄養バランスのとれた食事をよく噛んで食べる、ストレスをためない、喫煙しない（受動喫煙も要注意）。プロフェッショナルケアとして、歯科医院での歯石の除去、クリーニング、フッ化物塗布などの予防処置がある。

以上の事より、歯・口の健康づくりは、むし歯や歯肉炎など単に口の中で起こる疾患の予防のためだけでなく、肥満やメタボ予防など、生涯にわたる全身の健康づくりにも貢献する。

3. 実践発表：平成25年度・26年度推進校4校

演題1. 伊勢崎市立境西中学校

養護教諭 田澤桂子

主題 自己管理能力の育成を図る小中9年間を見通した歯・口の健康づくり

目的 生きる力の育成：健康に関する自己管理能力を高める。

自己管理能力の育成を図る：小中9年間を見通した歯・口の健康づくり

実践した主な活動

(1)保健管理 歯科健康診断の工夫と実施

自分の歯・口の健康状態を学習する機会を捉え、自分の歯・口の状態を知り、課題に気が付き解決方法を考える。

①事前指導の実施（主体的に検診を受けられるような意識付け）

②歯科検診の受け方の工夫（歯・口の状態を自分で聴き取る）

③事後指導の実施（検診結果から課題に気づき解決方法を考える）

(2)保健教育

①歯・口の健康づくり年間指導計画の作成 小中9年間を見通した計画

・現行の教育活動の中で、歯・口の健康づくりに関連する内容を拾い出す。

・ねらいを明確にした系統的な指導実践。

②集団指導（ポピュレーションアプローチ）

歯・口の健康づくりのための基本的な生活習慣を身に付けたり、自分で歯・口の健康課題を見つけ、課題解決を図ったりするなど、歯・口の健康づくりに取り組みながら健康な生活を実践しようとする態度を育てる。

③個別指導（ハイリスクアプローチ）

養護教諭による指導 CO・GO対象児童、GO対象生徒

学校歯科医による指導 GO対象生徒

(3)組織活動・家庭・地域との連携

学校保健委員会、地域学校保健委員会

地域関係機関との連携

(4)嚙んでみがいてイキイキ生活の取組

研究の成果と今後の課題

小中9年間を見通した歯・口の健康づくりの年間指導計画の作成を通して、ねらいを明確にした歯科保健活動を展開することができた。

その結果、発達段階に応じて児童生徒が歯・口に関心をもち、課題に気づき、歯・口の健康づくりに関する知識や技能をもとに解決方法を考え取り組む姿が見られた。

学校歯科医や歯科衛生士、大学関係者等からの専門的な指導や情報を得ることにより、歯・口の健康づくりに対する知識が深まり、実践への意欲が高まった。

小中連携による「嚙んでみがいてイキイキ生

活」を合言葉とした強化週間や強化月間の取組により、咀嚼と歯みがきに対する意識が高まった。

家庭や地域への様々な方法での啓蒙活動を通して、保護者の歯・口の健康づくりへの意識が高まり、理解と協力を得ることができた。

小中連携のもと歯・口の健康づくりを核として児童生徒の主体的な活動を重視しながら、自己の健康を維持増進できるような自己管理能力の育成を図る健康教育の推進に努めたい。

個に応じた指導方法や支援方法を工夫するとともに、家庭・地域や関係機関等との連携を大切に活動を持続させたい。

演題2. 東京都立志村学園 養護教諭 杉山彩乃

主題 食べることを通して育む生きる力～QOLの向上を目指して～

平成25年度に開校した特別支援学校で、肢体不自由教育部門、小学部、中学部、高等学部と知的障害教育部門高等部就業技術科を併置。

肢体不自由教育部門には、摂食機能に課題のある児童生徒が多いため、安全な給食指導を通して、摂食機能の発達を促すとともに全身の健康及びQLOの向上に寄与することをねらいとした。

実態と課題

肢体不自由教育部門児童生徒の実態

- ・身体障害・認知面の程度の幅が広い
- ・口腔衛生状態は良好
- ・保護者の歯と口の健康への関心が高い

開校初年度の組織の実態

- ・摂食支援技術レベルの差が大きい
- ・給食は普通食と形態食（初期食、中期食、後期食）を提供
- ・安定した形態の食事の提供ができていない

事業の推進

①プロジェクトチームの発足

事業内容の検討、教職員との連絡調整、事業の評価・反省

- ②学校歯科医と連携した摂食機能の評価（摂食相談）
- ③学校歯科医と教員でのケース協議
- ④研修会の実施
- ⑤形態食の試食と給食調理手順の検討
- ⑥ブラッシング指導

成果

- ①食育の充実
- ②給食指導技術のスキルアップ
- ③形態食の改善と安定化

今後の取組

- ①保護者との連携強化
定期的な巡回指導と保護者との連携
保護者対象の研修会・給食試食会の実施
- ②ツール（摂食の支援方法）の充実
- ③給食調理の安定保持

演題3. 京都市立広沢小学校 養護教諭 岡田沙織

主題（学校歯科保健目標）

歯・口の健康づくりを通して、自分のからだに関心を持ち、主体的に健康づくりに取り組む子

主題設定の理由

歯・口の健康づくりを通して健康の重要性を認識し、児童が自らの生活における健康課題を見つけ、課題解決のために生活を改善する力を身に付けることで、生涯にわたって健康な生活をおくることができるのではないかと。

研究組織

保健主事、養護教諭、栄養教諭、体育主任、安全主任、給食主任を中心とした健康教育部で、保健教育、食に関する指導、安全教育を3つの柱とし、相互に関連付けて実践を深めた。さらに3つの部に分けて研究を推進した。

- ①授業研究部
・学年の発達段階に即した系統的な指導となるよう内容の体系化を図り、計画的な指導を行う。（カリキュラムの構造化）

- ・高学年は関連教科と連携した指導を行い、歯・口の健康と全身の健康のつながりについて知り、実践しようとする資質や能力を育てる。

②日常指導

- ・子供たちが主体的に実践するために有効な教材や支援について工夫し、自律的な健康づくりにつながる行動化を目指す。

③家庭・地域連携

- ・保護者と共に行う活動を取り入れ、家庭や地域の協力を得る。
- ・学校保健委員会や学校便り、学校ホームページで家庭や地域に発信する。

研究の成果

- ①校内の組織体制づくり
- ②指導内容の体系化と計画的な指導
- ③生活習慣の改善と歯みがき習慣の定着
- ④学校医との連携
- ⑤家庭・地域との連携

今後の課題

子供たちの歯・口の健康に対する理解が深まり意識が変わってきた。しかし、児童の生活習慣は子供たちだけの力で改善することは難しい。家庭や地域と連携し健康教育の活性化に努めていく必要がある。

演題4. 高知県の町立長沢小学校

校長 長瀬由英

主題 よりよい生活を実践しようとする児童の育成～歯・口の健康づくりにおける学校・家庭・地域社会との連携を通して～

歯科保健の取組

- ・はみがき指導
なかよし歯みがき 話をしないで鏡を見ながら3分間歯みがきする
歯と口の健康週間
学校歯科医による歯みがきチェック

地域歯科衛生士との連携

保健体育委員会

・食育の取組

栄養職員との連携

いい歯の日 親子歯ハハデイ

給食試食会

講演会

・自己肯定感の向上

自己肯定感の意識調査

なかよし歯みがき

生活リズムチェック

・地域・家庭との連携

ヘルスマイトさんによる料理教室

地域保健機関との連携

地元企業の協力

本川地区学校保健委員会

家庭との連携 学校だよりでの保健行事の報告等

実践の成果

・食後の歯みがきの定着

・かんで食べることの意識化

・地域・家庭との連携

・自己効力感の向上

今後の課題

・個々の課題に応じた支援

・家庭・地域との連携を密にする

・かんで食べるよう習慣づける

・自己肯定感を高める

そのためには、サポート体制、ヘルスプロモーションが必要である

以上、御報告致します。



株式会社 岩瀬歯科商会



イワセオリジナルユニット
SIGNO NEXT



これまでも、これからも、いつまでも
Smile Dental Supply Inc. 10000000

昭和の幕開けと共に栃木県で創業した弊社は、今年で 90 年目を迎えます。
皆様方への感謝を忘れず、未来を見据えた歯科ディーラー像を創造して参ります。

■ 会社名称 株式会社岩瀬歯科商会
■ 所在地 栃木県宇都宮市平出工業団地37-6
■ 代表取締役 岩瀬 隆夫 (クラスII) 特定保守管理医(歯科)
■ 総務部長 岩瀬 隆夫 (クラスII) 特定保守管理医(歯科)
■ 経理部長 岩瀬 隆夫 (クラスII) 特定保守管理医(歯科)

製造販売・製造
株式会社モリタ東京製作所
本社 埼玉県さいたま市中央区上落合 2-15-24 TEL 048-866-1315
伊勢工場 埼玉県北足立郡伊勢町小室 7129 TEL 048-723-2621

発売
株式会社モリタ
大阪本社 大阪府吹田市豊津区 3-33-18 TEL 06-6380-2525
東京本社 東京都台東区上野 2-11-15 TEL 03-3834-6161

事業所案内

本社	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地37-6	TEL:028-613-5858
水戸支店	水戸市白梅2-8-18	TEL:029-225-6543
松戸支店	松戸市幸谷観音下159-1	TEL:047-345-3131
千葉支店	千葉市中央区浜野町879-1	TEL:043-305-1182
上野支店	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
古河支店	古河市下山町9-60	TEL:0280-30-1582
福島支店	福島市鎌田字卸町4-1	TEL:024-552-1161
世田谷支店	世田谷区玉川台2-11-17-101	TEL:03-5491-7595
練馬営業所	練馬区豊玉北4-14-11	TEL:03-5912-1180
横浜支店	横浜市栄区小菅ヶ谷1-28-9-101	TEL:045-895-3808
5月GW明け以降	横浜市磯子区中原2-1-19	NEW TEL:045-770-4182
前橋支店	前橋市紅雲町1-22-2	TEL:027-243-8241
5月GW明け以降	高崎市京目町176-2	NEW TEL:027-350-8241
厚木支店	厚木市酒井2087-14	TEL:046-228-5550
大宮支店	さいたま市見沼区東大宮7-41-1	TEL:048-688-1740
盛岡支店	盛岡市上堂1-6-5	TEL:019-648-2777
東大和支店	東大和市立野3-640-1	TEL:042-590-5770

第72回 学童歯みがき大会

学校歯科委員会 椎名 和郎

平成27年6月4日（木）、第72回学童歯みがき大会が開催されました。この大会は第65回大会からインターネット同時配信がスタートし、今年は日本全国約1300校の小学校から約7万人の児童が参加しました。また、韓国、中国、香港、ベトナム、フィリピン、タイの日本人学校も参加しています。

茨城県では、第66回大会に水戸市立新荘小学校が参加し、その後、11校、13校、46校、66校と年々参加校が増加し、今年は昨年に引き続き100校以上が参加して参加校数で全国第2位（！）となりました。

歯みがき大会は「君は何のために歯みがきをするのか？」という質問から始まりました。児童は思いついた答えをプログラムに記入します。（この答えはライオン歯科衛生研究所のホームページに掲載されるそうですが、参加校しか見られないかもしれません）

今年のテーマは「見つけよう！4つのサイン。自分で作るぞ元気な歯ぐき」です。

なぜ歯ぐきをテーマにしたのか？ということ。「ティラノザウルスの歯は約3分の2が歯ぐきに埋まっている。強く噛むために土台である歯ぐきにがっちりと埋まっている必要があった。実は、人間の歯も歯ぐきに半分以上埋まっている、だから歯ぐきも大事なのだ」というように説明していました。

今年も多くのクイズがありました。

第1問：歯ぐきの色がピンク色なのは歯ぐきの中の血管が透けてみえるからである？

第2問：人間の体の中で、歯ぐきだけは病気にならない？

第3問：歯肉炎は歯と歯肉の境目から起こる？

それとも歯の根の先から起こる？

です。第3問の答えでは、歯垢の中の細菌を見せて、歯垢は細菌のかたまりであり、これが歯肉炎の原因になるという説明がありました。

次に、「歯ぐきのサインを研究しよう」というコーナーに入りました。

健康な歯肉と、炎症がおきている歯肉のイラストを比較し、炎症が起こっている歯肉の特徴を調べます。

問 題：（健康な歯肉と歯肉炎のイラストを見て）

どちらが健康な歯肉だとおもいますか？

という問いの後で、色はどうか？形は？硬さは？出血は？と観察していきます。次に、自分の歯肉を鏡で見て観察しました。そして、「歯肉炎は歯みがきで健康な歯ぐきに戻せる」「歯みがきをしないと大体1週間で歯肉炎になります。しかし、歯肉炎が軽いうちに歯みがきをして歯垢を落とすと、早ければ3日で、長くても1週間もあれば健康な歯ぐきに改善されます。」というお話がありました。

次は、【健康な歯と歯ぐきのための～歯のみがき方ステップアップ講座】です。

- 1) 歯垢がつきやすい場所
- 2) 歯ブラシの当て方
- 3) 歯ブラシを小さく動かしてみがく
- 4) 軽いちょうどいい力でみがく
- 5) 1カ所20回以上みがく

という解説のあと実習に入り、①左上奥歯の外側から上の前歯、②左下奥歯の内側、③右下奥歯のかみ合わせ、④下の前歯の裏側、⑤前歯の生え

ている途中の凸凹した歯、⑥奥歯の生えている途中の歯、について練習しました。さらにデンタルフロスの使い方も練習し、歯ブラシの交換時期についての説明がありました。

最後に明海大学学長の安井利一先生からお話がありました。お話の終わりの方で「日頃からお口の中を鏡でしっかりと見て、自分の体は今、健康なんだろうか、そうでないんだったら、どうやったらそれを解決することができるだろうか。そうやって色々と考えて、自分の課題をしっかりと発見してそれを解決して行っていただきたい」とおっしゃっていました。歯・口の健康をとおして、問題解決型の学習をするということだと思えます。

私はリリーベール小学校でこの中継を見学し、あとで内容についていくつか質問してみました。が、児童はとてもよく理解していました。

学校歯科医の職務には歯科検診だけでなく、事後措置も含まれます。この学童歯みがき大会のイ

ンターネット中継は、対象が小学校4、5、6年生のいずれか1学年です。1時30分から2時30分とほぼ5時限目におさまるようにできていますし、内容も分かりやすいので、事後措置の一つとして活用されてはいかがでしょうか。

来年の歯みがき大会の募集は今年の10月頃から始まると思います。ご興味のある方はライオン歯科衛生研究所のホームページ (<http://www.lion-dent-health.or.jp/>) をご覧下さい。



アイ・デー・エスは…

医師賠償責任保険

所得保償保険

自動車保険

火災保険

小規模企業共済制度

生命保険

…など各種保険の代理店、集金業務を行います。新規加入、増額変更、何なりと御用命下さい。

(アイ・デー・エスは、イバラキ・デンタル・サービスのイニシャルです。)

有限会社 **アイ・デー・エス**

代表取締役 **森 永 和 男**

水戸市見和2丁目292番地 茨歯会館内 TEL:029(254)2826



歯科衛生士として一年を振り返って

茨城県身体障害者小児歯科治療センター

山下 千春、関口 浩、村居 幸夫
征矢 亘、森永 和男

私が茨城歯科衛生士学校を卒業して、口腔センターに勤務してから早1年が経ちました。勤務し始めた当初、臨床経験が浅い私は、歯科診療から覚える必要があり、またそこにプラスして障害者歯科も理解しなくては行けなく、学校の座学とは似ても似つかない環境に戸惑うことが多かったです。しかし先生方を始め、先輩方のご指導の下、今では歯科衛生士として何とか形になってきたのではないかと思います。

始めは、患者への接し方についてどのようにしていいのかわからない時がありました。しかし障害があるから、ないからではなく、患者一人一人誠意を持って接する事が大切なのだと、先輩達の姿を見て、学ぶことが出来ました。ただ障害がある場合は、その障害が何なのか、どんな特性があってどういった事に注意しなくては行けないのか、それを理解した上で接する事が必要であり、その為には、勉強もしなくては行けないのだと感じました。

また口腔センターでは、歯科衛生士科2年を中心に学生が実習にきています。学生への指導として、1年目の経験の浅い自分が何を伝えればいいのか、悩む時期もありました。しかし、あまり背伸びをせず、診療について教える事はもちろんですが、まずは“挨拶をしっかりと行う事”そして“やる気のある姿勢”について始めに話すように

しました。実習はどうしても緊張してしまいます。その緊張が学生にとっては大切なのですが、緊張し過ぎてしまうと、声も小さくて表情が固く、それが患者に伝わる事もあるので、“自分が患者だったら”をイメージして、患者と接して欲しいと思ったからです。また出来るだけ実習では多くの事を学んでもらいたいので、説明を聞いて終わりではなく、説明を聞いたからこそ行動して欲しいので、これら2つを重要視するようになりました。これは口腔センターだけではなく、様々な実習先でも言える事だと思うので、最近まで学生だった自分の経験を通して、学生の気持ちも理解しつつ、だからこそ実習ではどのように行動したらいいのか、これからも指導していけたらと思います。

去年の感慨深いエピソードとして、1つここで取り上げたいと思います。診療中、2歳の健常児／非協力児で暴れた為に抑制しながら治療したケースがありました。その診療が終わった時に、ある学生が「かわいそう」という一言を言ったのを今でも覚えています。何故なら私も勤め始めた頃は同じ事を思ったからです。

確かに傍から見ると、大人に抑えられ、大泣きして治療する様は可哀想に見えてしまうかもしれませんが、しかし、口腔センターに来る患児は全顎カリエスも少なくなく、中には乳歯の残根という

のもあります。成長するため必要な栄養摂取方法は、ほとんどが食事です。その食事をするために必要な歯がなければ、その栄養も不十分になってしまのは言うまでもないと思います。その子たちの“生活の質”を守るためには、抑制下での治療も必要になってくるのだと次第に考えるようになりました。

驚くことに、子ども達も何回か治療をしていくと慣れもあるのか、泣いても顔を動かさなくなったり、ピタッと泣かず上手に出来るようになったりします。そこで上手に出来たねと言うと嬉しそうに帰っていく姿を見ると、こちらも嬉しく感じ、とてもこの仕事にやりがいを感じます。これは障害者の患者にとっても通じることがあり、一

般歯科とはまた違った、小児歯科・障害者歯科のやりがいなのではないかと思います。

あっという間の1年でしたが、今後は2年目として、1年間通して学んできたことを十分に発揮しつつ、一人一人患者に対して誠意を常に持ち、更なる向上心を持って、仕事に励みたいと思います。



茨城県身体障害者小児歯科治療センター



非常勤医局員
グリーンナンセつ糸氏就任

茨城県身体障害者小児歯科治療センター（開設者 森永和男）に、非常勤医局員（水曜日担当）として本年4月からグリーンナンセつ糸氏が就任した。

同氏は、昭和52年3月東京歯科大学を卒業。同大学小児歯科学講座の助手として入局し、同講座退局後、神奈川県立こども医療センター歯科医局員、心身障害児総合医療療育センターの非常勤医局員などを経て、現在、神奈川県立歯科大学附属横浜クリニック障害者歯科非常勤医局員の職にありま

す。小児歯科治療に永く携わり、その知識と臨床から得られた経験を基に本県の障害者歯科治療に大きく貢献して頂きたいと、関係者から大きな期待が寄せられています。

茨城県土浦心身障害者歯科治療センター



非常勤医局員
西山めい氏就任

茨城県土浦心身障害者歯科治療センター（開設者 森永和男）に、非常勤医局員（金曜日担当）としての本年4月から西山めい氏が就任した。

同氏は、平成23年3月日本大学松戸歯学部を卒業。同大学同学部に研修医として入局し研修医を修了後、歯科診療所勤務と同時に、同学部障害者歯科学講座の研究生として在籍。現在、同講座助手（専任扱）の職にあります。

障害者歯科治療に携わり、その知識と臨床から得られた経験を基に本県の障害者歯科治療に貢献して頂きたいと関係者から大きな期待が寄せられています。



【スポーツ大会】

ー 歯科技工士科 ー

5月15日（金）、水戸市のグリーンボウルにて歯科技工士科の学生主催による親睦会が行われました。1学年12名、2学年10名、専任教員4名が参加し、ボウリング大会という形での開催となりました。

個人及びチームでの上位者には景品も出るということで、それぞれが気合い十分でゲームに臨みました。

普段は授業が忙しく、学年間の交流があまりない中で、この日はスポーツをしながら楽しく会話もでき、ピンを倒すたびに歓声上がるなど、日頃の授業でのストレスを解消しながら親睦が深められたようです。

あっという間の時間でしたが、この日は授業から解放され、楽しいひとときを過ごせました。体と心を少しリフレッシュできたので、また新たな気持ちで授業に取り組めるのではないかと思います。



ストライク取ったよー!!



ゲーム後に全員で記念撮影

（文責 渡邊）

【親睦会】

5月1日（金）内原ヘルスパークにて、歯科衛生士科全学年参加の親睦会が開催されました。

今回の親睦会開催にあたっては、衛生士科2年生が、大会前の企画・準備・当日の進行などを担当してくれました。

大会競技として、背中渡りリレー、5人6脚、大縄跳び、学年対抗リレーの4種目が選ばれ、各学年気合を入れて競技に臨みました。

まず始めに、背中渡りリレー、背中を走る人が1人、その子を支える人が2人、他は馬になりゴールを目指します。50人での競技は迫力があり、速やかに進むチームもあれば、バランスが取れずなかなか進めない学年もありました。

次に、5人6脚、5人で息をそろえないと動けません。意外にも転ばずにどのチームも進むことができました。大縄跳びでは、5分間に跳んだ回

数の合計数で勝敗が決まる競技、時間との戦いにみんな夢中で跳び続けました。

最後に学年対抗のリレー、3チームでの勝負です。50人全員と専任が走ります。それぞれが一生懸命走り、抜いたり抜かされたり、なかには転倒する人もいました。（菱沼です）最後の競技で、しかも優勝も懸かっているので応援の声が一層大きくなり盛り上がりました。



競技の結果は、総合優勝は3年生、2位が2年生、次いで1年生でした。

晴天にも恵まれ、過ごし安い穏やかな日でしたが、体育館の中は熱気と興奮で非常に濃厚な楽しい1日でした。



普段の学校生活の中で見る姿とはまた違った学生のいろいろな一面を見ることができました。そして、学生・学年相互の親睦が一層深められたのではないかと思います。

次回は、秋にも計画をしているので更なる団結をみるのが楽しみです。

（文責 菱沼）

原稿募集

身近な出来事から臨床まで皆さまのご意見・感想を載せてみませんか。

「茨歯会報」は会員皆さまの会誌です。臨床におけるヒントや趣味、旅の思い出など、また地区歯科医師会や同好会・同窓会の様々な活動（研修会、厚生事業）など何でも結構です。会報をフルにご活用下さい。

Eメールの投稿で結構です。形式はどんな形式でもかまいませんが、出来ればテキスト、ワード、一太郎、にてお送り下さい。

詳しくは、茨歯会事務局まで。

E-mail id-05-koho@ibasikai.or.jp

広報委員会



6月14日の日曜日に、約30年ぶりに中学校時代の友人2人と、バンド練習をするためにエレキギターを担いで新宿の高田馬場の貸スタジオまで行ってきた。2時間みっちり練習したが、内容はメロメロで、個人練習の成果は出なかったが、実に気持ちの良いものだった。一人での弾き語りも良いが、気心知れた仲間とのバンドでの音の饗宴もまた面白いものがある。また練習の後は中学校時代の話で盛り上がり、同窓会を立ち上げようという話になった。今後も、できれば月1回はバンドの練習の時間を作り、レパートリーを増やして、発表の機会があれば演奏してみたいと思っている。

(勝)

学3年生の児童・生徒を対象に「だるまさんが転んだ」に挑戦し、448人の参加が認定され、「最大人数のだるまさんが転んだ」のギネス記録を更新し、見事世界記録樹立「境から世界へ」記念すべき日でもあった。



(コスモッコ)

境町主催の圏央道開通記念イベントが、3月22日に開催され、参加してきました。

当日は素晴らしいお天気に恵まれ、イベントの一つの4キロのウォーキングに参加しました。完成した高速道路本線を歩く事など滅多にない機会の為か大変多くの人（境町では）が参加しました。その数約7千人（境町人口約2万4千人）。参加者は境町だけではなく、当然古河市や坂東市等からも参加しているのですが、本当に多かった。その為歩いていると、知人や患者さんとはしばしば遭遇。いつもはマスクと白衣の姿なので、気づく人気づかない人それぞれで、人間観察が面白かった。後日、気づかなかったかなと思えた何人かの患者さんから、診察時に「先生も参加してたね」と言われ、少し嬉しかった。

またその日は境町・古河市の小学4年生から中

今月号で今期は最終ということではありますが、来期もお世話になることがほぼ決まったようですので普通に執筆します（笑）。

もう3～4ヶ月前になりますが、友達の県会議員の一般質問を傍聴に先輩方に連れられ、初めて県議会議員会館を訪れました。恥ずかしながら県



庁の横にある事すら知りませんでした。立派な建物と正面玄関の大階段が政治の場の雰囲気醸し出しています。友達の質問は一番最後なので眠くなるかと思いきや、結構面白くて食い付いて聴いて

ました。広報委員ということで今まで代議員会を何度か取材を兼ねて傍聴しましたが、茨城県民である以上、県政にももっと目を向け耳を傾けなくては いけませんね。県ではありませんが、つくば市は



現在、総事業費305億円という巨大な総合運動公園建設事業を進めようとしており、市民の会がその必要性を問題提起し、8月2日に住民投票が行われることがやっと決まりました。この事業がもし認められ、完成した暁には増税は免れない事態となるでしょうから反対する方々には頑張って欲しいものです。

…と友達は時間が押したため、早口での質問をし、簡単な答弁で散会となりました。ですが、先輩の諸先生方に「～がんばれ!」「いいぞ!」と可愛がられていることが容易に想像でき、これからも頑張って県政に取り組んでくれることでしょう。

(コバ)

先日、友人の社長就任を高校時代の悪友7人で祝った。3年前の忘年会のときは、常務だと言っていた。まさか社長になるとは、正直なところ思っていなかった。昔から「ごじゃっぺなヤツ」という印象だったし、いまでもそんな雰囲気があるが、良く気がつく前向きなヤツだ。大卒後、彼は周りが銀行、大企業、公務員などに決まっていくなか自分の感覚をたよりに40人足らずのベンチャー企業に、親にも先輩にも相談せず就職した。最初の10年はいつやめようかと思うことも度々あったが、それからは、毎日毎日がバブルのような日々になっていったそう。気がつけば、従業員2000人規模の中核企業になり、そのトップに就任

した。コンパを好み、カラオケも腕を上げコミュニケーションの大切さを語るベンチャーな男になっていた。そして昔の話に盛り上がり、あれから40年、それぞれ頭は白髪とハゲに変わり、思えばと遠くへ来たもんだ。

(生る)

うちの長女はくじ運がいい。福引きなどでは毎回いいものを引き当てる。ショッピングセンターの抽選会では、ポケットティッシュを抱える家族をしり目に、商品券を引き当てる。商品券を当てた家族がいれば、それよりも高額な商品券を当てる。旅先でお米やじゃがいもなどを当てたこともある。子供のころは縁日の屋台で、存在しないと思っていた1等を当てたこともある。

そんな長女が、東京駅一番街の抽選会で1等をまたもや当てた。商品は、カタログ掲載の日本全国の施設から1か所、ディナーを選べるというもの。元々、親のふところから得た抽選券で当てたもの。私と家内でいただいた。二人で熟考し選んだのが、横浜のディナークルーズ。家内は船



酔いを心配していたが、夜景の魅力が勝ったようだ。

当日は好天に恵まれ、夜景も素晴らしく、美味



しい料理も堪能できた。家内は心配していた船酔いもせず、ひと安心。このような機会をあた

えてくれた長女に感謝し、明日への活力とさせてもらった。

(仁)

森永執行部が3期目に突入し、私も引きつづき広報を担当させていただくことになりました。よろしくお願いします。最近、一般会員からの寄稿が若干さびしいかな、という感があります。仕事の話、趣味の話、なんでも来るものは拒まずのスタンスであります。お気軽に原稿をお寄せください。

それにしても、昨年1年の理事会はセンター補助金問題に明け暮れた感があります。本号にその詳細な経緯が、臨時代議員会でのやり取りとして掲載されておりますので、ぜひお目通し願います。

森永会長以下、執行部のご苦勞、ご心痛は如何ばかりだったか、改めて思います。我々理事も、8月以来逐一報告は受けておりましたが、マスコミ等に漏れたら大変ということで箝口令が敷かれ、非常に苦しい、何とも悶々とした気分の数か月でした。いろいろご意見、ご批判もあるでしょうが、何とか不時着でき最悪の事態は回避できたのではないのでしょうか。新たな気持ちで、会務に臨もうと思っています。

また、今回で理事会を去られる鈴木副会長、長谷部理事、田中理事、仲田理事、そして若松監事。本当にお疲れ様でした。いろいろご指導ありがとうございました。今後も、会報等にご意見などありましたら、遠慮なくお願いします。田中先生、「医聖たちの～」復活、よろしく！！

(Hisshy)



みんなの写真館

Photo
Gallery



茨城県笠間市の佐白山で撮影した紫陽花です。近くに「上を向いて歩こう」の坂本 九さんの歌碑と九ちゃんの家があります。すごく閑静な森の中にあり、何となく懐かしい気持ちになります。

(社)東西茨城歯科医師会 石本 崇子

みんなの写真館写真募集！

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、御自宅の古いアルバムに埋もれた写真などを御送り下さい。

1種会員 1,142名
2種会員 44名
終身会員 141名
準会員 1名
合計 1,328名

会 員 数

平成27年5月31日現在

支 部	会員数(前月比)	
日 立	123	+1
珂 北	138	+1
水 戸	159	
東西茨城	75	
鹿 行	104	+1
土浦石岡	173	+2
つ く ば	119	
県 南	175	
県 西	154	
西 南	107	
準 会 員	1	
計	1,323	+5



Ibaraki Dental Association

公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 平成 27 年 6 月

発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和 2 丁目 292 番地

電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075

ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>

E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 征矢 亘

編集人 菱沼 一弥



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。